

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	そらば		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 4日		～ R8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	R8年 2月 4日		～ R8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の提供	一人一人の変化にすぐ気づけるよう、全体を見ている。 のびたいと感じた事や出来ると良い事、対人との関わりなどについて、課題や活動の場で反映している。 子ども達が安心して過ごせるような環境作り。 日常的なスキルについて、自分たちで出来る事を伸ばす。	ご家族からの要望などを聞き取りし、支援に反映させる。 職員間での情報共有を密にとり、さらに統一した支援を図る。 支援に対する情報収集を行い、そらばに反映させる。
2	活動内容	毎月プログラム会議を実施し、活動が固定されないようにしている。 運動、制作、ゲーム、調理と様々な経験が出来る内容を意識して提供している。 活動の場面では、対人の相性や能力なども考慮しながら参加できるようにしている。	一日のスケジュールや活動内容を更に具体的に話し合い、子ども達がまたやりたいと思える内容を提供する。 子ども達の伸ばしたいところを考えた内容を提供し、出来る事を増やしていく。
3	課題について	個別計画やご家族の要望に沿った課題を提供する。 相手の気持ちを考えるプリント学習、時期によっては面接などの練習を行っている。 日常生活の中でのスキルや、将来に活かせるスキルがアップするような課題の提供。	個別のスキルを確認し、新しい課題の作成を行う。 将来を見据えて生活スキルを習得できるような課題も設定する。(食器洗い、掃除や整理整頓など) ご家族や本人の「出来るようになりたい」事を確認しながら、課題の設定を行う。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	合同交流会などを行い保護者同士の交流の場などを設けているが、参加できないご家庭も多いため、交流の場と実感できていない。	開催日が学校行事と重なり参加できないための参加率の低さ。 紙ベースでお知らせを出しているが、事業所側の目的や意図が伝わりにくい。	ホームページに情報を公開していたり、Instagramを開設して日ごろの様子を発進しているため、まずは見て興味を持ってもらえるよう積極的に声掛けして参加率を増やす。 Eメッセージの導入と活用。
2	地域との交流の方法	近隣の方とは地区のソフトボール大会に参加するなど交流がある。地区の障害者理解のモデル地区の一員として集まりにも参加しているが、事業所自体を解放し地域理解を求めるなどの、交流する場とはなっていない。	事業所について知っていただくため、地域の回覧板を活用するなど状況や現状にあった地域との交流方法を考えていく。
3	送迎時間の変更等、情報共有の漏れ。 職員間の情報共有と、情報共有の重要性についての理解の不足。	一部の職員に伝えたことで、全体への周知が不十分になってしまう。 支援や家庭からの情報共有を行うために、時間を作ることを意識できていない部分がある。	全体への情報共有のツールの見直し。 支援後に時間が取れず、振り返りが不十分と感じている場合は、時間の使い方をもう一度話し合い、翌日の朝礼等で必要な情報を必ず共有するという意識を職員ひとりひとりが意識する。